

challenge II

限りなき可能性への挑戦 ～信・考・拓～

平成28年 6月14日発行 No. 20 発行責任者 吉竹 一泰
文責 喜多川直子

それぞれのトライやる・ウィーク！



みんなのトライやる・ウィークの日誌を見せてもらいました。それぞれにいろいろな活動をさせていただいたんだなと思いました。また、事業所の方や保護者の方から毎日温かいコメントをいただいたことも、とてもありがたかったですね。それぞれのトライやる・ウィーク。まとめとなるトライやる新聞の出来上がり楽しみですが、日誌に書いていた振り返りを一部紹介します。

6月6日(月)

- ・今日朝起きた時からずっと緊張していて、胸がドキドキしていたけど、子供達と初めて出会って、緊張していることも忘れるような元気いっばいの姿を見て、私も負けないようにしたいなと思いました。周りを見て行動し、すばやく行動できるように時間を見て動きたいと思います。(今田幼稚園)
- ・今日一番難しかったのは木をまっすぐに切ることです。一番最初に切った木はまっすぐだったのに、二本目から斜めになりました。まだ完ベきではないけど、あと四日間で完ベきに切れるようになっていきたいです。機械の使い方にもしっかり気をつけて作業していきたいです。(市野工務店)

6月7日(火)

- ・今日は午前中に薬を棚に並べたり、分包をしたり、薬の種類の説明をしていただいたりしました。薬にもいろいろな形、色、大きさや効果、貯法などがあることが分かりました。いろいろな薬を見て触ってみて、薬についてもっと知りたいと思いました。(岡本病院)
- ・最初はすごく緊張してしまって、接客をする時にかみまくなってしまいました。ですが、少しずつ慣れていき、昼食前にはかまわずに言えるようになりました。お客様が注文された品を持って行く時には、お客様が笑顔でほほえんでくださったので、安心してできるようになってきました。優しいお客様ばかりでホッとしました。(ドーノ)

6月8日(水)

- ・運転士のシミュレーションではちょっと難しく、思っていた場所に止まらなかったのが残念でした。車掌さんは思っている以上に大変な仕事だと分かりました。運転士さん、車掌さんに今まで以上に感謝しようと思います。(篠山口駅)
- ・2日目だったので、初日でできなかったことや分からないことが分かってきたので、少しはオーダーを取ることやお料理を運ぶことなどに自信がついてきました。一つ一つのことを丁寧に、早く取り組んでいきたいです。(獅子銀)

6月9日(木)

- ・今日の担当はお鍋で、「キャベツのスープ煮」を作りました。大きな丸い釜にキャベツ、にんじん、じゃがいもを入れて、それを混ぜるのがとても大変でした。明日はまた違う仕事をするし、トライやる最終日なのでがんばりたいです。(篠山西部給食センター)
- ・お楽しみ会、みんな楽しく遊んでくれて本当にうれしく、みんなの笑顔で元気になりました。今日、先生方にインタビューをして、この仕事をしていく上で楽しいことは子供の成長だと言われていたので、子育ては楽しいのだろうなと思いました。あと1日みんなと楽しく過ごしたいです。(今田保育園)

6月10日(金)

- ・今日は最終日でした。初日は緊張してすごく不安だったけれど、最終日はさみしい気持ちでいっぱいです。お別れ会では、私たちが考えた遊びをうれしそうにしてくれて、うれしかったです。5日間たくさんのお話を学び、園児達の元気さとふれ合え、良い体験をさせていただきました。(今田幼稚園)
- ・今日はそばを切らせてもらいました。包丁をまっすぐに引くことが難しく、そばが切れなかったり、太さがバラバラだったりしました。昼食では自分で切ったそばを食べました。マスターが調理してくださり、とてもおいしくいただきました。(裁ち切りそば一真坊)

6月11日(土)

- ・今日は農産物直売所で野菜を袋に入れたり、接客をしたりしました。最初はお客さんを待たせてはいけないと思いついていました。慣れてくると袋の大きさを自分で選び、野菜がつぶれないように入れることができるようになりました。お客さんとたくさん接することができたのでよかったです。(ぬくもりの郷)
- ・今日は最終日で、慣れたところで終わるんだなと思いました。また機会があればもう一度したいと思えるようなトライやる・ウィークになったので良かったです。今日は一番思い出になった、とても充実した一日になりました。(和風レストランカフェそら)